

有限会社シー・アンド・シー・藤田
代表取締役
(元株IHI 船舶海洋事業本部)

藤田 訓弘

昭和 40 年卒業(第 24 回)



「東山へ帰る日」に参加して

<お礼>

平成 27 年 6 月 5 日名大祭の最中に開催された隔年開催の「東山へ帰る日」に参加しました。お陰様で諸先生はじめ関係者の方々、同期の諸氏と久方振りに再会でき、しっかり旧交、新交を温めることが出来ました。

S39 年卒：10 名、S40 年卒 22 名の参加者を代表してお世話頂いた東山会関係者の皆様様に心よりお礼申し上げます。

何しろ卒業後 50 年、実に半世紀です。並みの年月ではありません。

同期 92 名中 13 名が物故した中での 22 名の参加でした。参加したくても自身の体調、ご家族等々の諸事情で参加出来なかった方の心中をお察しします。それに比べて我々は参加出来たことだけでも幸せと思うべきでしょう。

繰り返しになりますが関係者の皆様様に厚くお礼申し上げます。

<名大の近年の活躍を誇りに思う>

(1) ノーベル賞：

受賞者は野依良治先生、益川敏英先生、小林誠先生、下村脩先生、赤崎勇先生、天野浩先生の 6 人、何と 21 世紀になってからの日本人のノーベル賞受賞者 12 名中の半数が名大系。インターネットの見出しでも“闊無く自由闊達、時代は既に名大だがね！”と出ていました。関東では“メイダイ”と言えば 100% “明大”でしたが、最近は、“ノーベル賞の？”と言われることが多くなりました。上記の先生方に“鼻を高くして頂きありがとう”とお礼を申し上げます。

(2) 女子陸上の鈴木亜由子選手：

2013 年のユニバーシヤード 5000m で銀メダル、10000m で金メダル、今年の世界陸上 5000m で 9 位、とても名大卒とは思えません。この快挙に大拍手です。

<名大の大変貌>

50年振りに大学を訪問した同期諸氏は、その変貌ぶりに仰天童子していました。50年前は豊田講堂前のグリーンベルトは赤土のブラウンベルトで雨でも降ろうものなら泥んこでした。それがどうでしょう、緑豊かな木々が鬱蒼と生い茂り、グリーンベルトの真ん中には大中央図書館がそびえ、周りは高層ビルと化した研究棟、実験棟ばかり、豊田講堂だけが昔のままでした。木造の水力/流力、機力、材力、熱力等の実験室は跡かたもなく消え去っていました。正に、浦島太郎の50年を感じた人は少なからずいた筈です。

<今後の名大への期待とお願い>

- (1) **男女共同参画**：日本の人口が激減する中、日本はもっと女性の活用を早急に図るべきでしょう。以前は男性の専売特許だったダンプ、バスの運転手にも女性が進出しています。人口は減っても男女の比率は変わっていないことを良く理解すべきでしょう。機械科も女子学生に人気が出るように工夫すべきでしょう。
- (2) **産学官連携事業の更なる推進**：名大は他大学と比べると極端に遅れているようです。機械科発で何とか切り拓いて欲しいものです。
- (3) **卒業生は東海地方だけに留まるな**：確かに東海地方はトヨタ等の優良企業があるお陰で卒業生の就職は東海地方が圧倒的に多いことは判りますが、一方、世界は広いようで狭くなっており、もっと活躍出来る場所を広く考えて人間の幅を大きくして頂きたいのです。地球は狭くなっているのに、更に狭い東海地方だけに留まるのは、人間として勿体ない気がします。世界、宇宙まで仕事の視野を広げて活躍されることを卒業生として期待します。(H24年にご縁があつて、名大大学院法学研究科“リーディング大学院”で2週間の集中講義を担当させて頂きました。学生は、国連、世界銀行、海外大学にインターンシップでどんどん出かけています。機械科学生もそのようになって欲しいところです)

<結び>

2015.8.22 付け日経新聞の“春秋”というコラムに“思い出は何と強情っぱりか。懐かしい土地を訪れ、様変りに驚く。強い印象を受ける。ところが家に戻るとすぐに現在の景色は色あせ、いつのまにか昔の映像が甦る。34年前の今日、台湾での航空事故で亡くなった作家の向田邦子が随筆「眠る盃」にかいている”と出ていました。

6/5に新生名大のその変貌ぶりを目の当たりにした訳ですが、暫くすると、昔の木造の研究室がはっきりと甦り、近代建築の新生名大は記憶から褪せて行くのでしょうか。

まあ、古い思い出の詰まった記憶はしぶとく中々消えないが、新しくショックを受けたその変貌はいつしか消えて行くのでしょうか。

“年々歳々花相似たり 歳々年々人同じからず(劉廷芝)”と高校時代の漢文で習いましたが、“花(名大)も人(名大関係者)も基本的には同じ“を感じた”東山へ帰る日“でした。

東山会関東支部を立ち上げ、第1回総会を平成19年に開催、以来8回総会をやりました。趣味の会として囲碁会、ゴルフ会、旧制高校寮歌を歌う会を定期的に開催、また企業で活躍された（している）卒業生による講演会、さらには企業見学会を不定期に開催し、関東支部は年々内容のある会になってきています。東山会関東支部へのご支援を今後ともお願いしつつ、東山会本部の益々のご発展を心から祈っています。

